

# プログラム

## 2020年2月29日(土) 2階 A1・2

- 12:30～ 受付開始
- 13:00～13:05 開会の挨拶：隅 清彰 愛染橋病院 小児科部長
- 13:05～16:30 ワールドカフェ  
母になるとは・・・？ (若年妊娠の事例から学ぶ)  
司会：岩井 未来 愛染橋病院 チャプレン・臨床心理士

## 2020年3月1日(日) 2階 C1-3

- 9:10～ 受付開始
- 9:30～9:35 会長挨拶：隅 清彰 愛染橋病院 小児科部長
- 9:35～10:25 教育講演  
早産児の発達障害と療育へのアプローチ  
演者：谷池 雅子 大阪大学大学院連合小児発達学研究所長  
座長：望月 成隆 大阪母子医療センター 新生児科副部長
- 10:25～12:00 一般演題 (発表6分、討論3分)  
座長：豊 奈々絵 淀川キリスト教病院 小児科副部長  
早田 憲司 愛染橋病院 産婦人科部長

- NICU(新生児集中治療室)入院中の家族支援  
— 病棟保育士、臨床心理士とファミリーセンタードケアの実践について —  
松永 菜津 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 看護部
- 遺伝性疾患を持つ児の家族の「受け入れ」のプロセスを援助する  
— 臨床心理士、保健師との連携の実際 —  
町田 奈菜莉 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター  
看護部 新生児棟
- 精神運動発達遅滞が予想され医療的ケアが必要とされる児の治療を拒否する両親に対する  
多職種協働の経験  
谷口 英俊 大阪大学大学院医学系研究科小児科
- メラノーマに罹患した母親から出生した早産児とその家族への看護  
中尾 佐友里 和歌山県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター NICU
- 多職種で関わった退院困難な児への支援  
藤田 知穂 和歌山県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター NICU
- 医療的ケアが必要な子どもの母親へのヒアリング調査から  
～ 周産期からの保護者同士のつながりの重要性 ～  
藤尾 さおり NPO 法人そらしど

7. 当院の多職種で行う産後こころケア

小野 洋子 兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科

8. EPDS で子育て支援の評価を試みる

永谷 ひとみ 笠松産婦人科・小児科 産科病棟

9. 妊娠後期に成人スティル病（AOSD）を発症した初産婦の精神的な揺らぎを支援する  
多職種ケア

野上 美沙子 京都市立病院 看護部

10. 地域連携の取りにくさと親子の安全を守るために

富村 明美 医療法人浜中産婦人科

12:00~13:10 休憩

13:10~15:00 シンポジウム（発表 15 分、質疑応答・意見交換 20 分）

母と子と家族を支える専門職の役割 ～ 育てにくさ・関わりにくさに向き合う ～

座長：甲斐 明彦 愛染橋病院 小児科副部長

1. 対人関係能力に困難さがみられる初産婦との関わり

千葉 貴子 愛染橋病院 助産師・母性看護専門看護師

2. 社会的ハイリスクを抱える家族への多職種連携 — 臨床職の視点から —

万代 ツルエ 神戸大学医学部附属病院 公認心理師・臨床心理士

3. 地域で支える妊娠期からの子育て

福永 淑江 大阪市西区保健福祉センター 保健師

4. 母と子を支える MSW の役割

青木 興子 阪南中央病院 MSW

5. 社会的ハイリスク家庭への関わり

— 小児科医としての役割、小児科医として求めること —

井石 倫弘 愛染橋病院 小児科医

6. 子どもや家族と相対するという事 ～ 児童相談所の立場から ～

岩佐 和代 大阪市こども相談センター

15:00~15:10 休憩

15:10~16:00 特別講演

地域の中で、こどもたちと家族を支える

演者：荘保 共子 認定 NPO 法人 こどもの里理事長

座長：隅 清彰 愛染橋病院 小児科部長

16:00~16:15 総会：窪田 昭男 月山チャイルドケアクリニック

16:15~16:20 閉会の挨拶：隅 清彰 愛染橋病院 小児科部長

次期会長挨拶：佐野 博之 淀川キリスト教病院 小児科主任部長